

財務会計WG 調査票
提案項目 3-1 収支計画

【財務会計 WG による所見】

- 各コンソーシアムとも、SPCの計画財務諸表と9個別事業ごとの計画財務諸表が整合した提案となっている。
- 想定されるリスクへの対応方法（保険等）が明確に示されており、資金調達や改築・修繕等の施策に係る費用が整合した提案となっている。

《損益計算書》

- 営業収益（利用料金）は、[REDACTED]の順となっている。
- 経常損益率は、[REDACTED]の順となっている。
- [REDACTED]
- 人件費は、[REDACTED]となっている。
- [REDACTED]
- 1人当たり人件費（取締役等含む20年平均）は、[REDACTED]。
- 個別事業の健全性の観点において、Aは事業期間を通じて、流域下水道2事業（阿武隈川下流、吉田川）で他のコンソーシアムと比較して大きな損失が計上されている一方で、上水2事業では大きな利益が計上されている。

《キャッシュ・フロー計算書》

- 財務キャッシュフローにおいて、配当支出（[REDACTED]）が、[REDACTED]の順となっており、各コンソーシアムの提案の特徴が表れているものと考えられる。

《貸借対照表》

- 資本金（ピーク時）と自己資本比率（10年経過時点）は以下のとおり。

A：資本金 [REDACTED] 億円 自己資本比率 [REDACTED] %

B：資本金 [REDACTED] 億円 自己資本比率 [REDACTED] % [REDACTED]

C：資本金 [REDACTED] 億円 自己資本比率 [REDACTED] %

【特徴】

《全体》

○ 資本金（ピーク時）と自己資本比率（10年経過時点）

A：資本金 億円 自己資本比率 %

B：資本金 億円 自己資本比率 %

C：資本金 億円 自己資本比率 %

⇒



■ 損益計算書

・ 営業収益（利用料金）は、 [REDACTED] の順となっている。

・ 一方、経常損益率は、 [REDACTED] の順となっている。
⇒ [REDACTED]

・ 人件費： [REDACTED] となっている。

・ 1人当たり人件費（取締役等含む20年平均）： [REDACTED]

・ 動力費： [REDACTED]

・ 修繕費： [REDACTED]

・ 保守点検費： [REDACTED]

・ 改築資産償却費（更新投資）： [REDACTED]

⇒ 運営権設定対象施設に係る経費（修繕費+保守点検費+償却費）は、

[REDACTED]

・ Aは下水2事業で48億円の損失を計上。一方、上水2事業では52億円の利益を計上している。

■ キャッシュ・フロー計算書

- ・営業CFについては、残存価値相当額を受入により、営業収益とは違い

[redacted] の順となっている。

- ・投資CFについては、改築費を抑制している順に

[redacted] の順となっている。

- ・財務CFについては、配当支出 [redacted] の少ない順に

[redacted] の順となっている。

■ 貸借対照表

- ・資本金（ピーク時）と自己資本比率（10年経過時点）

A：資本金 [redacted] 億円 自己資本比率 [redacted] %

B：資本金 [redacted] 億円 自己資本比率 [redacted] % [redacted]

C：資本金 [redacted] 億円 自己資本比率 [redacted] %

⇒ [redacted]

- ・資産の部： [redacted]

- ・負債の部： [redacted]

- ・純資産の部： [redacted]